

DO-ERC-SW CONFERENCE 2011

同志社大学社会福祉教育・研究支援センター

定例カンファレンス IN 同志社大阪サテライト

自分らしいソーシャルワーカーになるために

在学中は出会わなかったかもしれない卒業生
同士。日常のタテやヨコの関係にはない「ナナ
メの関係」※の中で、自由に語り合ってみませ
んか。

※「ナナメの関係」という言葉は NPO 法人カタリバが
用いている言葉です

日にち : **2011年9月17日(土)**

時間 : **14時~16時30分**

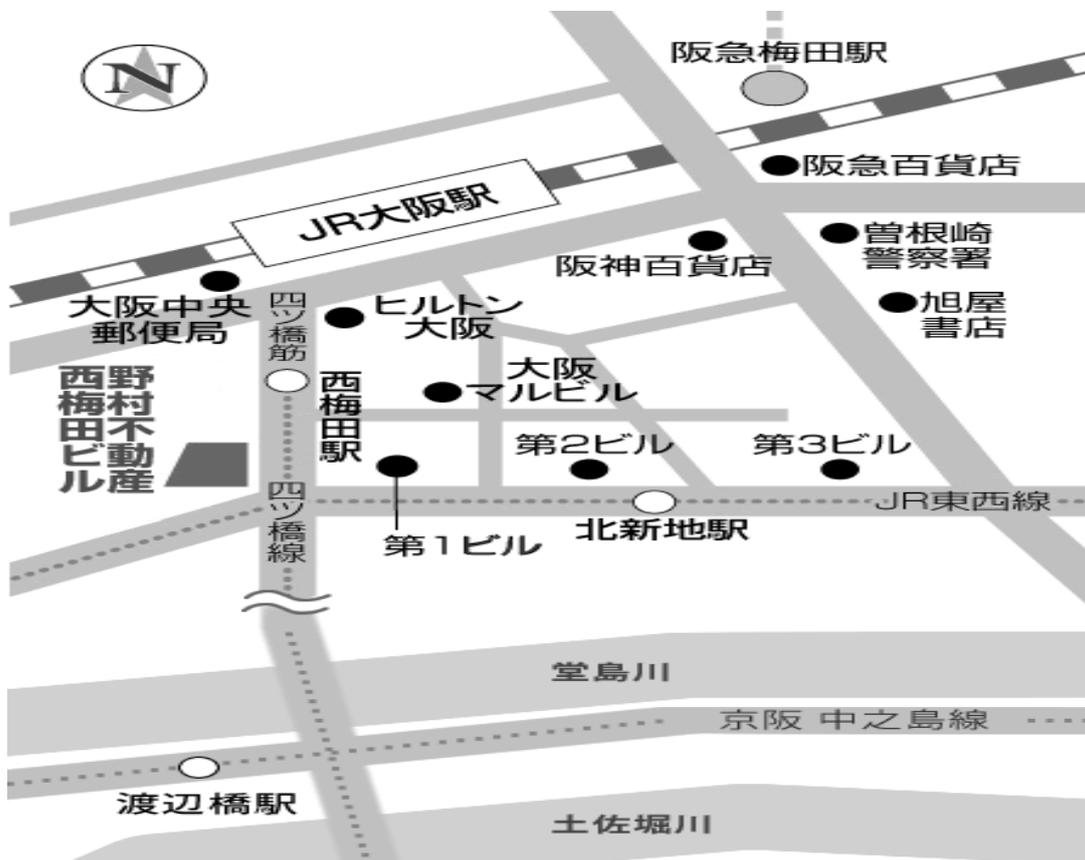
場所 : 同志社大学大阪サテライト

(JR 大阪駅下車徒歩 5 分)

参加費 : **無料**

問い合わせ : 同志社大学社会学部社会福祉学科 野村

(ynomura@mail.doshisha.ac.jp)



○JR「大阪」駅から徒歩 5 分

○京阪 中之島線「渡辺橋」駅から徒歩 8 分

〒530-0001 大阪市北区梅田 2 丁目 1-22 野村不動産西梅田ビル 9 階

※当日はビル内事務所は休みです。野村携帯 090-2043-3041 へご連絡ください。

去年に引き続き、今年度も出張カンファレンスを開催することとなりました。本学で社会福祉学を学び、社会福祉現場で働く卒業生のみなさんを対象に、月一回、本学内で定例講座を開催して 2 年目となりました。卒業後概ね 5 年程度までのソーシャルワーカーの方を対象としていますが、その他の方々も参加可能です。実践家の皆さんが集い、ケース討議を通して、専門家としての腕を磨き、専門家としての自分を語り合う場を提供しています。一人でも多くのみなさんのご参加をお待ちしております。ぜひ、一度、覗いてみてください。

◎講師

コメンテーター 空閑浩人（同志社大学社会学部社会福祉学科教授）

ディスカッションリーダー 野村裕美（同志社大学社会学部社会福祉学科助教）

◎申し込み

① お名前、②御所属を明記の上、以下までにメールでお申し込みください。

同志社大学社会福祉教育研究支援センター 大阪カンファレンス担当宛

E メールアドレス ynomura@mail.doshisha.ac.jp

● 定例カンファレンスではどんなことをしているの？

参加者の中から、毎回事例を提供していただきます。**事例は、ソーシャルワーカーをしている「私」を主人公にしてまとめてもらいます。**事例をもとに、事例提供者とディスカッションリーダーとで討議の計画を事前に立てていきます。定例カンファレンスの当日は、二人で作った討議計画に沿い、そこに集ったみんなでケースを読み込み、2時間フルに使ってケース討議を行います。カンファレンスの最後には、参加者から出てきた意見で板書がいっぱいになります。最後に、討議計画の一部が披露され、本日の討議のまとめとしてコメンテーターがコメントをして終わります。「こんな時、あなただったらどうするの？」「私だったら、こうすると思う」という自由な発想、意見交換を尊重する場です。

● どんな人が参加していますか？

去年から始まった定例カンファレンスですが、実にさまざまな社会福祉実践領域の卒業生が集まってきます。医療機関で働く医療ソーシャルワーカー、精神保健福祉士、福祉事務所や保健所など行政分野で働く社会福祉士、障害者福祉施設、児童福祉施設、高齢者福祉施設で働く指導員、社会福祉協議会の職員など、実にさまざまです。府パーソナル・サポートセンター相談員など、時代の最先端をいく就労支援サービスに関わる卒業生の参加もありました。この定例カンファレンスでは、**むしろ、分野を問わず、分野や立場の多様性から生まれる学びを大切にしています。**

● 毎回何人くらい参加しますか？

去年は、毎回平均12名～13名程度が参加してくれました。多少のメンバーの出入りはありましたが、全11回開催されたカンファレンスに、多くの方が7～9回は参加してくれていました。32名の現任のソーシャルワーカーが集った実績を残しています。仕事の関係で毎回出席することは難しいかと思いますが、なるべく継続して参加してくださることを望みます。

● 定例カンファレンスは京都だけで開催されるのですか？

定例開催のカンファレンスは、京都の同志社大学内の会場で実施します。今年度もすでに四回開催しました。去年は卒業生からのリクエストがあり、2011年2月に大阪・天満の会場に出張してカンファレンスを行いました。京都カンファレンスには平日どうしても参加できない奈良・大阪南部・兵庫の卒業生18人が参加しました。日頃のケース討議に慣れ親しんでいる京都カンファレンスメンバーも参加してくれ、討議をリードしてくれました。**2011年度は、出張開催では、この同志社大阪サテライトカンファレンスが初めてとなります。**さらに回数を増やし、卒業生の交流の場づくりに取り組んでいく予定です。

● 何しろ、一度、覗いてみてください！

各分野ごと、職種ごとの勉強会や事例検討会、研修会はたくさんあるかと思いますが、この定例カンファレンスでは、この仕事を選んで、この職についている今の自分をケースに書き込み、さまざまな経験年数、経歴、多様な分野ではたらく社会福祉の実践家はそのケースを材料に参加する討議の中で、経験や意見・考えの違いや多様性の中から何かを学びとり、自分らしい専門職像を作り上げていくことを目指しています。去年の定例カンファレンスに参加してくれた仲間も、サブディスカッションリーダーとして討議に協力してくれる予定です。